

**NEWS RELEASE**

**気象庁から「次期静止気象衛星（ひまわり 10号）」を受注**  
「ひまわり 7号」から4基連続、20年以上にわたりわが国の防災機能強化に貢献



ひまわり 10号のイメージ

三菱電機株式会社は、このたび気象庁から「次期静止気象衛星（以下、ひまわり 10号）」を受注しました。「ひまわり 7号」から4基連続の受注となります。

「ひまわり 10号」は、軌道上で現在運用されている「静止気象衛星ひまわり 8号、9号（以下、ひまわり 8号、9号）」の後継機として、気象庁が宇宙基本計画<sup>※1</sup>に基づき整備計画を策定したもので、2023年2月に国際入札で調達が実施されました。当社は独自の標準衛星バス「DS2000<sup>※2</sup>」を用いた衛星と地上データ処理ソフトウェアの提案を行い、気象庁から総合的な評価を得て今回の受注に至りました。

当社は今後も、「ひまわり 7号」から20年以上続くわが国の気象衛星事業への貢献で培った知見を最大限に活用し、近年国内で甚大な被害をもたらしている台風や集中豪雨、線状降水帯の予測精度向上や、防災気象情報の高度化など、わが国の防災機能強化に貢献していきます。

**「ひまわり 10号」の特長**

**1. 3つの高機能センサを1基の衛星に搭載し、観測能力を強化**

- ・米国 L3Harris Technologies 社<sup>※3</sup>製の可視赤外イメージャ（以下、イメージャ）と自社製のハイパースペクトル赤外サウンダ（以下、サウンダ）、および国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）から支給を受ける宇宙環境センサを1基の衛星に搭載
- ・イメージャは、可視から赤外の波長域で地球からの放射量を高頻度に観測することで雲分布、水蒸気分布、地表・海上・雲頂の温度等の面的（2次元）情報を取得。「ひまわり 10号」では「ひまわり 8号、9号」よりも観測バンド数の増加と高分解能化により、観測機能の維持・向上に貢献
- ・わが国の衛星としては初搭載となるサウンダは、赤外の波長域で地球からの放射量を高いスペクトル分解能で観測することで、水蒸気や気温等の立体的（3次元）情報を取得。集中豪雨や線状降水帯、台風の進路予測精度の大幅な向上に貢献
- ・宇宙環境センサは、宇宙天気予報の利用に即した我が国初の宇宙環境観測装置で、衛星の誤動作や機器異常を引き起こす陽子線、電子線を計測することで宇宙天気定常観測に貢献

※1 宇宙基本法に基づき、基本的な方針と施策をまとめたもの

※2 宇宙航空研究開発機構（以下、JAXA）の技術試験衛星Ⅷ型「さく 8号」（注）をベースに「運輸多目的衛星新 2号（ひまわり 7号）」や「ひまわり 8号、9号」にも採用  
注）移動体衛星デジタルマルチメディア放送技術等、21世紀初頭に必要な技術を開発し、宇宙で実験・実証することを目的とした衛星

※3 米国フロリダ州メルボルンに本社を置くテクノロジー会社。海、陸、宇宙、空、サイバーの各分野で製品と技術を提供

## 2. 高精度姿勢安定システムを強化した標準衛星バスと地上データ処理ソフトウェアにより高度な観測性能を実現

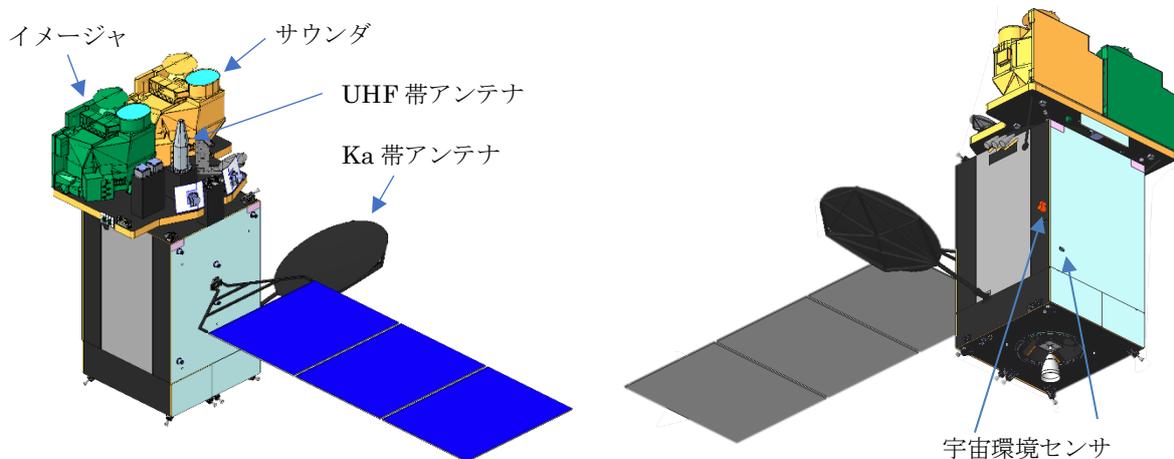
- ・当社の独自の標準衛星バス「DS2000」の高耐久かつ高精度な姿勢安定システムをさらに強化するとともに、センサから取得した情報を校正する地上データ処理ソフトウェアによって、イメージャとサウンダの性能を最大限引き出し、安定した高度な観測性能を実現

## 3. 実用システムとして求められる高い信頼性を実現

- ・「ひまわり7号」から培った設計、製造、試験、運用の知見や経験を活用し、高い信頼性を実現
- ・2020年に竣工した当社の最新の衛星生産棟で受注から出荷までの生産情報を一元化し、生産性と品質の改善サイクルを高速化することで、納期短縮と高品質かつ高効率な生産を実現

### 「ひまわり10号」の概要

衛星バス	標準衛星バス「DS2000」
質量	乾燥質量(燃料充填前) 約 2.4t、打上時質量 約 6.1t
寸法	収納時 約 4m×約 3m×約 6m、展開時全長 約 11m
軌道	静止軌道
設計寿命	15年以上



「ひまわり10号」イメージ図 (実際の色とは異なります)

### 当社の衛星事業について

当社は、JAXA が推進する国内衛星開発プロジェクトの半数近くに主契約者として参画し、日本の宇宙開発におけるリーディングカンパニーの地位を築いてきました。また、この過程で開発した「DS2000」を用いた衛星を研究開発目的の衛星だけではなく、実用衛星と呼ばれる日常生活に欠かせないインフラ、通信、気象、地球観測用途の衛星も国内外で提供しています。

### 当社の気象衛星事業への貢献

当社は、「ひまわり7号、8号、9号」の国際入札方式の調達においても衛星製造事業者として気象庁から受注しました。また、衛星以外にも地上設備の整備や維持管理においても日本の気象衛星事業に貢献しています。

衛星名	受注時期	打上時期	備考
ひまわり7号	2000年7月	2006年2月	気象観測と航空管制の機能を合わせ持つ運輸多目的衛星
ひまわり8号	2009年7月	2014年10月	解像度の向上や観測バンドの増加によるカラー画像化
ひまわり9号		2016年11月	

### お問い合わせ先

<報道関係からのお問い合わせ先>

三菱電機株式会社 コーポレートコミュニケーション本部 広報部  
〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号  
TEL 03-3218-2332 FAX 03-3218-2431